MUJI 無印良品

デジタル電波時計（大音量アラーム機能付）

（ホワイト　型番：MJ-RDCLA(W)1）
（ブラック　型番：MJ-RDCLA(B)1）

取扱説明書

●お買い上げいただきありがとうございました。
●ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
●この取扱説明書は必ず保管してください。

付属品
単3形マンガン乾電池　2個
取扱説明書（本書）　1部

取扱説明書番号　8RZ162AZ-4　（Y2103）

保証書付

株式会社　良品計画
〒170-8424　東京都豊島区東池袋4-26-3
お客様相談室でんわ　0120-14-6404

保証書

製品名　デジタル電波時計（大音量アラーム機能付）
(MJ-RDCLA(W)1/MJ-RDCLA(B)1)

お買い上げ日　　年　　月　　日

お客様 お名前

お客様 ご住所

TEL

保証書貼付用レシート貼付欄

〔保証期間〕お買い上げ日より1年以内

日本国内のみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

●保証書貼付用レシートが未貼付の場合は無効です。
●ネットストアご購入の場合、保証書貼付用レシートの同梱はございません。お買い上げ日は、ネットストアマイページ「注文履歴」にてご確認をお願い申し上げます。

■保証について

通常のお取り扱いで万一機械故障が生じました場合、保証期間中に下記までこの保証書を添えてお申し出下されば無料にて修理・調整いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料修理になりますのでご了承ください。
（ご使用の際はこの取扱説明書を必ずお読みください。）

1）誤ったご使用による故障、またはお取扱いの不注意による故障
2）不適当な修理や改造による故障
3）火災または天災による故障
4）ご使用中に生じる外観上の変化（本体の傷など）
5）本保証書のご提示がない場合（電池は保証の対象外です。）
6）修理の際、外観の違う代替品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

安全上のご注意 よくお読みのうえ、必ずお守りください。

図記号の説明
⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

禁止　**誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止　**電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

●電池をショートさせない。　●電池を分解しない。
●電池に傷をつけない。　●電池を充電しない。
●電池を加熱しない。　●電池を火の中に入れない。

電池から漏れた液に触れない

●失明や炎症などの障害が発生する危険性があります。目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
●液漏れしたときは、電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

禁止　**電池の⊕⊖を逆向きに入れない**

液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

必ず守る　**時計を使わないときは、電池を取り出す**

入れたままにすると、電池が液漏れを起こすおそれがあります。

禁止　**強い振動や落下など衝撃を与えない**

故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、岩盤浴、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびや故障の原因になります。

ぬれた手で触らない

さびや故障の原因になります。

分解禁止　**分解や改造をしない**

けがや故障の原因になります。

禁止　**下記のような場所では使わない**

性能の低下、部材の変形、変質、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●暖房器具等の熱風や火気に近い所。
●温度が+50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。
●強い磁気を発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●ほこりが多く発生する所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう
●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●種類の異なる電池を混ぜない 。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●電池を新しくするときは、全部取り替える。
●幼児の手が届かない所に置く 。

■ 電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低いので、本製品には使用しないでください。

■ 電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
●温度などの使用条件により、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の交換について…早めに交換して液漏れを防ぎましょう

⚠注意　**電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕が必要になることがあります。**

電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。
●表示が薄くなったら電池を交換する。
●動いていても1年に1回定期的に交換する。
●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
※単3形アルカリ乾電池を使用することができますが、異なる種類の電池と混ぜて使わないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の点検をお願いいたします。

症状	原因と処置
表示が薄い、アラームのときに表示が薄くなったり濃くなったり、一部が欠けたりする。	○電池の残量が少ない可能性があります。新しい電池に交換してください。
電波が受信できなくなった。	○電波送信所の点検のため、送信を停止していることがあります。送信が再開されるまでお待ちください。 ○ノイズの影響を受けた可能性があります。この製品のそばに、照明機器や携帯電話、パソコン、テレビなどの電化製品があるときは、距離を離してください。
表示の一部が欠け、正常に機能しない。	○静電気の影響を受けた可能性があります。**リセット**を押してください。
電池を取り出しても表示がすぐに消えない。	○故障ではありません。回路内に電荷が残っているためです。時間が経過すると表示が消えます。
他の温湿度計と異なる値を表示する。	○製品により精度が異なります。特に湿度センサーは誤差を含みやすく差異が出やすくなります。また室内の湿度は一様ではないため、同じ製品であっても設置する場所によって数値が異なる場合があります。設置場所を変えてご確認ください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・製品の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●電池と本体を分別して廃棄してください。

電波時計について

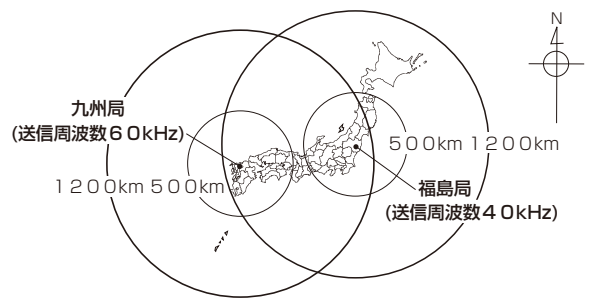
■ 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

■ 電波の受信範囲について

送信所から約1200 km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（ 太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。



■ 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

■ 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。**海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。**

製品仕様

使用環境温湿度：−10 ～ 50℃、85%RH以下　＊結露しないこと
液晶表示可読温度：0～40℃
時計機能：電波時計
時間精度：電波の受信に成功した直後　±1秒
電波を受信しないとき　平均月差　±30秒
温度が5～35℃のときのクオーツ精度
電源：単3形マンガン乾電池 R6P （1.5V）2個
電池寿命：約1年　アラームを音量中位で30秒/日鳴らし、照明を3秒 / 日点灯した場合
標準電波機能：標準電波受信により自動時刻修正
受信局：福島局（40kHz）/九州局（60kHz）自動選択
受信ON／OFF：あり
受信回数：1日8回
受信開始時刻：1時から4時、13時から16時の16分40秒に受信開始

アラーム機能：設定した時刻にアラームを鳴らす
アラーム精度：表示時刻に対して±0秒
アラーム音：電子音　鳴り方が4段階で変化
音量：可変式　最大音量　約100dB（スピーカー上面）
スヌーズ機能：あり
オートストップ機能：あり
カレンダー：2014～2099年対応
時刻表示形式：12時間／24時間　選択式
照明：液晶表示部をLEDで照明

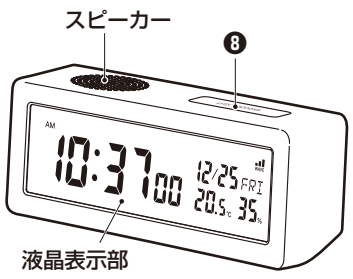
温度表示範囲：−9.9 ～ 50℃
温度の精度：±2℃　表示範囲において
湿度表示範囲：20～95%RH（%RHは相対湿度を表しています）
湿度の精度：±10%RH　表示範囲において
測定間隔：1分間隔

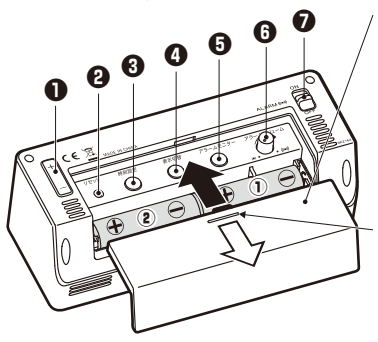
外形寸法：幅 148 奥行64 高さ 59 mm
質量：242g （電池を含む）
材質：ケース ABS/ 液晶表示部 ガラス
防水防塵機能：なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。温度が0～40℃になれば、正常に戻ります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、商品と異なることがあります。





裏カバー
電池の交換やボタン操作を行うときは、裏カバーを取り外し、終わったら取り付けてください。
⇨**取り外す**
この部分を押しながら⇨方向に動かす。
⬅**取り付け**

※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

①の電池をセットするときは、一度②の場所に入れてから右に移動させてください。

❶	＋／－	アラーム時刻や手動で日時を合わせるとき、表示方法の選択に使用します。
❷	リセット	押すと、2014年1月1日午前12：00、アラーム時刻 午前6：00、12時間表示の時刻優先表示、電波受信機能ONにセットされて受信を開始します。 押すときは楊枝(ようじ)など細い棒状のもので押してください。
❸	時刻設定	手動で日時を合わせるときに使用します。
❹	表示切替	時刻表示形式、時刻／日付の優先表示を切り替えるときに使用します。
❺	アラームモニター	押すとアラーム音が鳴り出します。止めるには、リセット以外のボタンを押してください。
❻	アラームボリューム	アラームの音量を調節します。
❼	アラームON／OFF	ONにすると設定した時刻にアラームが鳴り始めます。OFFにすると鳴りません。
❽	SNOOZE（スヌーズ）	アラームが鳴っているときに押すとアラーム音が約5分間停止します。 照明のスイッチを兼ねていますので、押している間とボタンを離してから約3秒間液晶表示部を照明します。

表示の見かた

◎液晶の表示は、見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。
◎表示には、現在時刻を大きく表示する時刻優先と、月日を大きく表示する日付優先があります。また、時刻表示には、12時間表示と24時間表示があります。→ **3 表示の切り替え** 参照
◎現在時刻とアラーム時刻は同じ時刻表示形式になります。
◎電池をセットしたときとリセットを押したときは、時刻優先の12時間表示になります。

■ 時刻優先表示例

受信マーク　表示の意味

点滅：受信中 → 点灯：受信成功
→ WAVEのみ点灯：受信失敗
消灯：受信機能 OFF

現在時刻（時：分 秒）　曜日

12時間表示のときはAM（午前）またはPM（午後）が表示されます。

SUN 日曜
MON 月曜
TUE 火曜
WED 水曜
THU 木曜
FRI 金曜
SAT 土曜

■ 日付優先表示例

月／日　現在時刻（時：分）・曜日

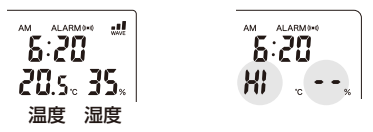
■ アラームがONのときの表示例

アラーム時刻（時:分）　アラームマーク

◎時刻優先表示になります。
◎曜日を表示しません。

■ 温度／湿度の表示例

測定範囲内　測定範囲外の表示



	温度	湿度
LO	-9.9℃未満	20%未満
HI	50℃を超える	95%を超える
- -		測定できない

湿度は、温度が5～50℃のときに測定できます。

時計の状態と操作について

強制受信状態	電池を入れた直後または**リセット**を押したときの電波を受信している状態。
定時受信状態	1日8回定時に電波を受信している状態。受信中は、受信マーク WAVE が点滅します。
モニター状態	**アラームモニター**を押してアラーム音を試聴している状態。
日時表示状態	日時を表示している通常の状態。
アラーム状態	アラームが鳴っているまたはスヌーズ操作によりアラーム音が一時停止している状態。
日時設定	手動で日時の設定。 手動での時刻合わせ 参照。
受信機能設定	電波受信機能のON／OFF設定。 電波受信機能の ON/OFF 切り替え操作 参照。
アラーム時刻設定	アラーム時刻の設定。 **2 アラーム機能を使う** 参照。
表示設定	12/24 時間表示、時刻 / 日付優先の設定。 **3 表示の切り替え** 参照。

◎**リセット**を押すと無条件に強制受信状態になります。
◎受信状態のときに、**＋**または**－**を押すと受信を中止して、「アラーム時刻設定」になります。
◎アラーム状態のときは、「日時設定」や「アラーム時刻設定」などの設定状態に切り替えることはできません。**アラームON/OFF**スイッチをOFFにしてから行ってください。
◎日時などの設定をしているときは、他の設定に移行したり、他の状態に切り替えることはできません。また、設定しているときにアラームのON/OFFを切り替えても表示に反映されません。設定が終わると表示に反映されます。

表示部の照明

SNOOZEを押している間と**SNOOZE**を離してから約3秒間照明が点灯します。
照明中は正面から見てください。他の方向からは表示が薄くなったり、見えなくなったりします。

温度/湿度表示

本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度を反映しにくくなります。
センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。また、設置する高さによっても温度、湿度が変わります。
湿度の測定は、空気の流れに影響されるため、同じ室内でも風通しの良し悪しにより表示が異なったり、変化しない場合があります。
※厳密な温湿度管理や取引の証明には使えません。

1 電池を入れて日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、手動での時刻合わせ をお読みください。
電波を受信しやすい窓際などに置いてください。
※電池を入れたときやリセットを押したときに電子音が「ピィー」と鳴ります。

① 単3形乾電池を2個入れる

⚠注意 ⊕⊖を指示と異なる向きに入れると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

② リセットを押すと受信を開始

誤作動を防ぐため、電池を入れた直後に必ず押してください。
受信中はボタンに触れないでください。

③ 20分待ってから受信結果を確認する

受信は最長で20分行います。受信マークで受信結果を確認してください。

【受信の流れと表示】

リセット直後

受信開始

受信中の受信マークの変化
（電波サーチ機能）
電波の状態により変化

受信できない ▶ 受信しやすい

❶ WAVE　❷ WAVE　❸ WAVE　❹ WAVE

受信終了まで最長20分待つ

（表示例）

受信成功 WAVE　**受信失敗** WAVE

正しい日時を表示。　日時は正しくありません。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

チェック!
1～2分経過しても❶や❷の状態が続く場合は受信できません。 場所を変えて**リセット**を押して再度受信を開始させてください。

- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯します。
- 受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて**リセット**を押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す
ベランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面を向くようにしてから、**リセット**を押して受信を試みてください。

標準電波が受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分、秒）の順に設定してください。

年月日、時刻（時/分/秒）でのボタン操作

点滅している数値を**＋**または**－**で合わせてから**時刻設定**を押します。

操作例　2015年10月24日午前10時37分30秒に合わせる

①年

②年

③月 ④日

⑤時 ⑥分 ⑦秒

12時間表示のときはAM／PM表示に注意

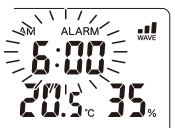
①**時刻設定**を**西暦年**が点滅するまで約2秒間押し続ける
電子音が「ピィ」と鳴ります。
②**年**を**＋**または**－**で合わせ、**時刻設定**を押す
③**月**を**＋**または**－**で合わせ、**時刻設定**を押す
④**日**を**＋**または**－**で合わせ、**時刻設定**を押す
⑤**時**を**＋**または**－**で合わせ、**時刻設定**を押す
⑥**分**を**＋**または**－**で合わせ、**時刻設定**を押す
⑦**秒**を**＋**または**－**で合わせ、**時刻設定**を押す
電子音が「ピピィ」と鳴って設定の完了をお知らせして、時を刻み始めます。

押してすぐ離す	押し続ける
1つ進む	早送り
1つ戻す	早戻し

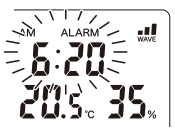
- ボタン操作を30秒間中断すると、表示内容に設定して終わります。終わるときに電子音が「ピピィ」と鳴ります。
- 受信機能がONのときは、手動で日時を設定しても受信に成功すると日時を自動修正します。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

■ アラーム時刻を合わせる



12時間表示のときはAM／PM表示に注意

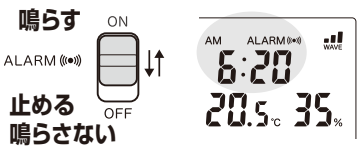


押してすぐ離す	押し続ける
1つ進む	早送り
1つ戻す	早戻し

① **アラームON/OFF**スイッチをOFFにする
② **＋**または**－**を押してすぐ離す
アラーム時刻が点滅します。
③ **＋**または**－**を押してアラーム時刻を合わせる
④ **約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる**

■ アラームON/OFFスイッチの設定

ON にするとアラーム時刻が表示され、その時刻にアラームが鳴ります。



ご注意
アラームON/OFFスイッチがONのときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使わないときは OFF にしてください。

■ アラーム音の試聴と音量調節

アラームモニターを押すとアラームが鳴り出します。**アラームボリューム**を回して、お好みの音量に合わせてください。
鳴っているアラームを止めるには、**リセット以外のボタン**を押してください。
○アラーム状態のときは、**アラームモニター**を押しても機能しません。

⚠注意 **耳の近くで大きな音を鳴らすと、聴覚を痛めるおそれがあります。また、アラーム音がご近所迷惑にならないようにご注意ください。**

■ オートストップ機能（自動鳴り止め）

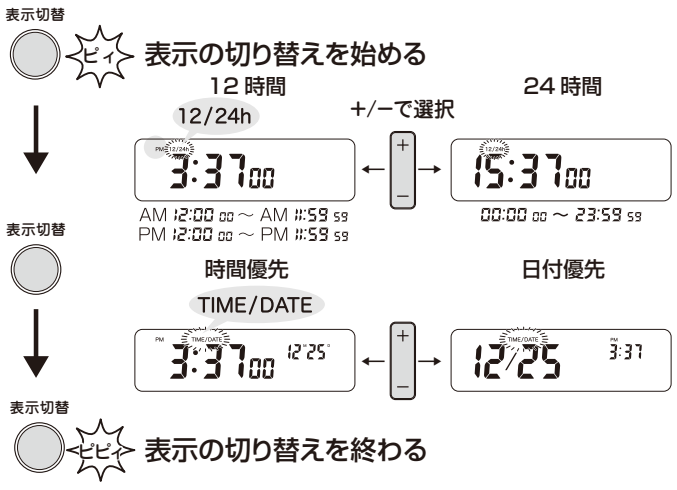
鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。

■ スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、**SNOOZE**を押すと、((•)) が点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目に**SNOOZE**を押すと、アラームは止まり、((•))は点灯表示になります。

3 表示の切り替え

表示切替を押すと、12/24h時刻表示→TIME／DATE優先表示の順番で切り替えができます。下図の操作例に従って設定してください。



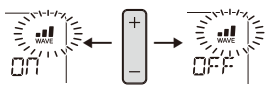
○表示の切り替えが可能になったときと切り替えを終わるときに電子音が鳴ります。
○設定をしているときに、ボタン操作を30秒間中断すると、表示内容に設定して終わります。終わるときに電子音が「ピピィ」と鳴ります。

電波受信機能のON／OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用するときや手動で日時を合わせて使用するときは、電波受信機能をOFFにすることができます。ON にすると定時に電波の受信を行います。

①**時刻設定**を受信マーク WAVE が点滅するまで約10秒間押し続ける
押し始めから2秒後*と10秒後に電子音が「ピィ」と鳴ります。
＊一時的に「日時設定状態」になりますが、そのまま押し続ける。
②**＋**または**－**を押してONとOFFを切り替える
③**時刻設定**を押して設定を終わる
電子音が「ピピィ」と鳴って設定の完了をお知らせします。
◎設定をONにして終わると、すぐに受信を開始します。
◎ボタン操作を10秒間中断すると、表示内容に設定して終わります。終わるときに電子音が「ピピィ」と鳴ります。

設定中は点滅表示



設定終了後